

愛知産業大学の3つのポリシー

平成 31 年 4 月 1 日改正

ディプロマ・ポリシー	
愛知産業大学	愛知産業大学では、幅広い知識・教養を身につけ、豊かな感性を持ち、論理的に物事を考え、他者とのコミュニケーションができ、なおかつ専門的知識を身につけて、産業・地域・生活の発展に貢献できる就業力を持った者に対して学士を授与します。
造形学部	造形学部では、産業・地域・生活における諸問題に関心を持ち、そこにあるさまざまな問題を発見し、建築及びデザインの実践的スキルと知識を身につけて社会に貢献できる者に対して学士（芸術）を授与します。
造形学部 建築学科	建築学科では、高度化する現代社会に対応できるように、建築の基本から物事を順序立てて進める能力を持ち、多様な表現を用いて計画を説明できる能力を身に付け、多数の人々と協働できる知識・技術・経験を修得することを目的としています。このため、以下の点に到達している者に学士（芸術）を授与します。 <ul style="list-style-type: none"> ・設計・設備・構造・施工・インテリアなどの基本的事項を理解している。 ・住宅建築および住環境について理解し、住宅について必要な知識と能力が使える。 ・建築の産業や仕事に関わる情報を取得して伝達することができる。
造形学部 スマート デザイン学科	スマートデザイン学科では多様化する現代社会について知識を身につけ、情報テクノロジーを含めたトータルなデザインを通して産業・社会・生活をより良きものとする提案ができる知識と能力を身につけることを目的としています。このため、以下の点に到達している者に学士（芸術）を授与します。 <ul style="list-style-type: none"> ・産業・地域・生活に存在する課題を発見し、そこに関わる人々に理解できるように説明することができる。 ・産業・地域・生活に存在する課題について、情報テクノロジーを含めたトータルなデザインの知識を通して解決方法を立案することができる。 ・情報テクノロジーを含めたトータルなデザインを実践するために必要な知識とスキルについて理解し、それを修得するために行動することができる。
経営学部	経営学部では、複雑化する現代社会において求められるマネジメントに対応できる実践的能力を身につけることを通して、産業・地域・生活における組織や地域・事象のマネジメントに貢献できる者に学士（経営学）を授与します。
経営学部 総合経営学科	総合経営学科では、複雑化する現代社会における、ビジネスシーンや暮らしの環境で生じる課題解決やそのために求められるマネジメントに対応できる実践的能力を身につけることを通して、産業・地域・生活における組織や地域・事象のマネジメントに貢献するビジネスパーソン、アスリート、生活者になれることを目的としています。このため、以下の点に到達している者に学士（経営学）を授与します。 <ul style="list-style-type: none"> ・利益や損失につながる仕組みについて理解し、分析できる。 ・会社組織の成功や失敗、スポーツチームの勝ち負けについて、その運営に関わる多角的観点から理解し、活用できる。 ・人気の商品やショップがどのような企業戦略のもとに生み出されてきたのかを理解し、応用できる。

カリキュラム・ポリシー	
愛知産業大学	愛知産業大学では、各学部・学科の専門知識を修得する科目を設定すると同時に、人文・社会・自然、語学、情報、キャリア等の科目を体系的に編成し、主体的に学修に取り組むことが可能な、学部学科を跨いだ実践的な共通専門科目を設定しています。
造形学部	造形学部のカリキュラムでは、造形に関する専門知識を修得する講義だけでなく、現代社会で行われている造形に関する建築実務、情報社会におけるデザイン実務の技能を修得する実技授業を設定し、専門知識を実践で確かめて広く共有するための演習授業を設定しています。
造形学部 建築学科	建築学科のカリキュラムでは、学生の主体的な学びにより知識・技能の修得とその活用を目指し、デザインのみならず施工・営業・管理も視野に入れた実践教育を行い、社会で役立つ実学を修得できるように編成されています。具体的には、ディプロマ・ポリシーで述べた3つの目標を達成するため、以下のような学修をできるように設定しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅と住環境について学び、実践的な設計技能を身につけさせる住宅設計やインテリア設計を行います。 ・建築空間への興味・関心・疑問の喚起により修学意欲の向上を図る学修をします。 ・建築を学問ではなく身近なこととして感じさせる生活に密着した体感授業を行います。
造形学部 スマート デザイン学科	スマートデザイン学科のカリキュラムでは進歩・変化が著しい情報工学の分野における動向をつかむため、企業関係者や研究者の声を聞く講座を開講するなど、最新の情報を取り入れるように編成されています。具体的には、ディプロマ・ポリシーで述べた3つの目標を達成するため、以下のような科目を設定しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・デザインマネジメント論、人間中心デザインなど、IoT、情報デザインを行うための社会的知識、教養を養う科目を設定しています。 ・マーケティング演習、プロトタイプングなど実際の産業・地域・生活にある事例を使った実践的なデザインのための実技、演習科目を開講しています。 ・機械学習基礎、データマイニング、ロボティクス・システム論など、IoT、情報デザインを行うために必要な工学的知識、技能を修得するための科目を設定しています。
経営学部	経営学部のカリキュラムでは、経営に関する専門知識を修得する講義、社会の中で実際の組織がいかに効率的に活動しているかを学ぶ実践的授業、修得した知識を現実の問題に応用する課題解決型の授業を設定しています。
経営学部 総合経営学科	総合経営学科のカリキュラムは、世の中の身近な事例を用いながら、経営に関する専門知識を修得できる講義や企業の社長の生の声を聞く講座を開講するなど、実践的な経営スキルを身につけられるように編成されています。具体的には、ディプロマ・ポリシーで述べた3つの目標を達成するため、以下のような科目を設定しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の損益の仕組みを理解する方法、すなわち、組織内のお金の流れを記述する簿記やそれをシステム上で処理するためのコンピュータ会計、さらには資金管理法について研究する経営財務論、企業が守るべき法律などについて学ぶ科目。 ・経営管理論を基礎とし、成功するビジネスモデルの策定を目的とする経営戦略論や経営組織論、スポーツチームの運営方法について研究するスポーツ指導論やスポーツチーム経営論、組織を取り巻く社会経済の影響などについて学ぶ科目。 ・マーケティング論を基礎とし、商品の具体的流通方法に関する理論や現実の市場動向の分析、さらにはヒット商品が生まれる仕組みや企画方法などについて学ぶ科目。

アドミッション・ポリシー	
愛知産業大学	<p>愛知産業大学では、各種産業に関する知識と学術を授けるとともに、専門の技能・理論を学び、応用に発展させる力をつけ、人格の完成を図り英知と勤勉さを高め、産業及び文化の発展に貢献する人材を育成しています。</p> <p>そのために、基礎的な知識・教養を持ち、論理的に考え、他者とのコミュニケーションができること、そして自分の分野の専門知識・技能を身につけ、産業・地域・生活の発展に貢献でき、夢の実現に意欲をもつことが求められます。</p> <p>したがって、文系や理系にとらわれず高等学校において幅広く学習し、コミュニケーション能力を備えていることを重視します。そのため入学試験では、文系・理系科目の基礎知識や能力を求めますが、知識を単に有することよりも、持っている知識を関連づけることや展開する能力を重視します。</p>
造形学部	<p>造形学部では、産業・地域・生活における建築及びデザインという造形行為を通して、社会に貢献できる人材を育成します。そのために、専門知識・技能を身につけた職業人を目指して、よりよい生活環境を実現したいという意志を持つことが求められます。</p>
造形学部 建築学科	<p>建築学科では豊かなインテリアから建築環境の創造と保全を通して、地域産業や生活に貢献できる人材を育成することです。</p> <p>そのために、デザイン・情報・建築の専門知識・技能を身につけた職業人を目指して、社会や生活に常に関心を持ち、良いものや美しいものに敏感で、よりよい生活環境を実現したいという意志を持つことが求められます。</p> <p>したがって、小論文で関心度と目指す意欲を判断し、一般入試・センター利用入試では、高等学校での学習の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力をもっているかの判断をします。推薦・AO入試では、勉学態度と意欲の面からみて大学で学ぶ能力を有すると認められた人物に対して行い、職業系の学科出身者に対しては専門の学習実績も考慮します。外国人志願者には、建築学科で学修できる日本語能力についての判断も行います。</p>
造形学部 スマート デザイン学科	<p>スマートデザイン学科では、確かな人間理解と生活感覚をもとに、IT社会における産業と暮らしのあり方についてAIを利用し、IoTでつながるものやことを創造できる人材を育成することです。</p> <p>そのために、デザイン・情報・建築の専門知識・技能を身につけた職業人を目指して、社会や生活に常に関心を持ち、良いものや美しいものに敏感で、よりよい生活環境を実現したいという意志を持つことが求められます。</p> <p>したがって、小論文で関心度と目指す意欲を判断し、一般入試・センター利用入試では、高等学校での学習の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力をもっているかの判断をします。推薦・AO入試では、勉学態度と意欲の面からみて大学で学ぶ能力を有すると認められた人物に対して行い、職業系の学科出身者に対しては専門の学習実績も考慮します。外国人志願者には、スマートデザイン学科で学修できる日本語能力についての判断も行います。</p>
経営学部	<p>経営学部では、複雑化する現代社会に対応できる実践的能力を身につけることを通して、産業・地域・生活に貢献するビジネスパーソンを育成します。そのために、専門知識を身につけた職業人を目指して、企業の設立や経営などの夢の実現に挑戦する意欲が求められます。</p>
経営学部 総合経営学科	<p>総合経営学科では、産業・地域・生活における組織や地域・事象のマネジメントに貢献するビジネスパーソン、アスリート、生活者を育成します。</p> <p>そのために、基礎的な知識・教養を持ち、論理的に考え、他者とのコミュニケーションができ、企業の設立や経営などの夢の実現に挑戦する意欲を持ち、将来的に商工業・地域・文化・スポーツなどの分野におけるマネジメントに従事することを目指すことが求められます。</p> <p>より具体的には、会社運営に関わるコスト意識を持ち、組織の効率的な運営方法や普段利用している商品の販売方法や店舗経営に興味を持っていることが求められます。</p> <p>したがって、小論文で関心度と目指す意欲を判断し、一般入試・センター利用入試では、高等学校での学習の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力をもっているかの判断をします。推薦・AO入試では、勉学態度と意欲の面からみて大学で学ぶ能力を有するかの判断をします。職業系の学科出身者に対しては専門の学習実績も考慮します。外国人志願者には、総合経営学科で学修できる日本語能力についての判断も行います。</p>

愛知産業大学大学院の3つのポリシー

大学院造形学研究科・専攻のディプロマ・ポリシー		
造形学研究科 建築学専攻	1	現代社会の諸問題に関する観察眼や分析力を身につけるとともに、専攻分野での学習を高い教養的見地から位置づけられること
	2	建築に関する学術、技術及び芸術に関する総合的で高度な専門知識を修得するとともに、社会造形上の問題発見・解決に従事する実践的職業人としての高い倫理観を具えていること
	3	建築が社会環境の造形に果たすべき役割と責務に対する深い理解をもち、リーダーシップをもって地域社会の発展に貢献する使命感をもつこと
造形学研究科 デザイン学 専攻	1	現代社会が抱える諸問題を意識し、高い教養と広い視野に立ってデザインを思考する能力と責任を身につけていること
	2	デザイン分野のプロとして、新たな価値を創造するための専門的能力と力量を具えていること
	3	協調性や高度な伝達力、指導力を持つデザイン開発リーダーとしての素養を身につけていること

大学院造形学研究科・専攻のカリキュラム・ポリシー		
造形学研究科 建築学専攻	1	現代社会の諸問題に関する観察眼や分析力を身につけるため、造形に関わる広範な学習をとおして、専攻分野での学習を適切に位置づけられる教育
	2	専門領域における高度な知識・技能を修得させるとともに、建築学を広く、深く俯瞰し、自らの専門知識・技能を広い視野で評価できる教育
	3	社会での実務体験をふまえて、専門知識・技能の役割・責務を理解させる教育
造形学研究科 デザイン学 専攻	1	現代社会の諸問題に関する観察眼や分析力を身につけるため、造形に関わる広範な学習をとおして、専攻分野での学習を適切に位置づけられる教育
	2	常に現代社会と深く関わりながらデザインを問い直し、探究することで新たなデザイン提案が出来る能力を身につける教育
	3	積極的に企業・行政等との共同開発やデザインワークショップなどに参加し、協調性や指導力を涵養する教育

大学院造形学研究科・専攻のアドミッション・ポリシー		
造形学研究科 建築学専攻	1	社会人としての基本的な素養を持ち、論理的な思考と倫理観を身につけた人
	2	建築に関する高度で広範な専門知識・技能を身につけ、産業・地域・生活の発展に貢献したい人
	3	社会・暮らしのさまざまな造形に強い関心を持ち、建築という職能を通じて、思いやりをもって人々の夢の実現に貢献する強い意欲を持つ人
造形学研究科 デザイン学 専攻	1	社会人としての基本的な素養を持ち、論理的な思考と倫理観を身につけた人
	2	デザインに関する高度で広範な発想力・考察力および指導力を身につけ、産業・地域・社会の発展に貢献したい人
	3	デザインと関わる現代そして未来の生活・環境・社会・情報・自然などを広い視点で考察できる人

愛知産業大学通信教育部の3つのポリシー

通信教育部のディプロマ・ポリシー		
造形学部 建築学科	1	自然・社会・文化に関する基本的知識を習得するとともに、それらをより広く、深く修得する向上心・探求心と、知識を適切に活用できる能力を身につけていること
	2	建築学における知識・技能・技術を習得し、社会の課題に応じて適切に活用できる力を身につけるとともに、しっかりした職業倫理を持っていること
	3	社会人としての基本的教養と職業倫理を持ち、主体的に問題に取り組むことができること

通信教育部のカリキュラム・ポリシー		
造形学部 建築学科	1	一般教養の知識を高め、より確かな人間理解と生活感覚を身につけさせる教育
	2	学生の自主的な履修計画による学習を通して、建築の専門知識を習得し、職能の社会的役割を理解させる教育
	3	社会事象への幅広く、深い興味・関心を育成し、多様な価値観を共有・尊重できる教育

通信教育部のアドミッション・ポリシー		
造形学部 建築学科	1	確かな人間理解と生活感覚を持ち、論理的に考え、「自ら求め、自ら学ぶ」学習ができる人
	2	建築の専門知識・技能を身につけ、産業・地域・生活のよりいっそうの発展への貢献を目指す人
	3	社会や生活に常に関心を持ち、想像力が豊かで、「自立学習の重要性」を自覚し、よりよい生活環境を実現したいという意思を持つ人